

(様式第3号)

パブリックコメント（意見公募） 手続による意見募集の結果公表

意見募集結果及び寄せられた意見に対する市の考え方について、次のとおり公表します。

ご協力に感謝申し上げます。

【意見募集の集計結果】

1	案件名	(仮称) 千歳市集会施設等個別施設計画 (案)	
2	意見募集期間	令和7年11月10日 (月) ~ 令和7年12月9日 (火)	
3	意見の件数 (提出者数)	10件 (6人)	
4	意見の取扱い (対応内容の分類)	① 案を修正するもの	1件
		② 既に案に盛り込んでいるもの	1件
		③ 今後の参考とするもの	9件
		④ 意見として伺ったもの (案件に直接関係がないため)	1件
5	意見の受取方法	電子メール	1件
		郵送	1件
		ファクシミリ	1件
		意見箱	3件
		直接持参	6件

【市民意見等の概要とそれに対する市の考え方】

No.	市民意見等の概要	件数	市民意見等に対する市の考え方
1	<p>【案件名：（仮称）千歳市集会施設等個別施設計画】</p> <p>末広会館は、今後「廃止の方向性」とされているが、当館は、防災避難所に位置し、耐震工事を実施した施設であることを踏まえ、次の点、確認したい。</p> <p>①学童クラブの移転先は。（児童の移動距離も課題と考える）</p> <p>②シーリングなどの改修費用と除却費用は比較しているのか。</p>	1	<p>分類～③</p> <p>①本計画28ページのとおり、あすなろ学童クラブは、千歳市立高台小学校の児童に対する放課後の受入れを行っている施設であり、施設の老朽化が進んでいることも踏まえ、「高台小学校区内における移転について検討を進めること」としております。</p> <p>②「施設の今後の方向性」については、施設の建築経過年数や、施設の利用状況、老朽度、各費用（除却、建替、長寿命化）の試算、代替機能などのほか、個々の施設の状況を踏まえ総合的に判断することとしております。</p> <p>なお、本施設は、耐震診断の結果を踏まえ、耐震工事は行っておりません。</p>
2	<p>【案件名：（仮称）千歳市集会施設等個別施設計画】</p> <p>末広会館は、今後「廃止」の方向性とされているが、「千歳市強靱化計画」の内容と相違していないか。</p>	1	<p>分類～④</p> <p>強靱化計画については、大災害の都度、長期間かけて復旧・復興を図るという事後対応の繰り返しを避け、平時から大規模自然災害に対して備えるため、事前防災対策を行うことを目的とした計画としております。</p> <p>指定避難所については、令和7年8月時点で末広会館を含む48か所を設定しているところではありますが、該当する施設の廃止時期が決まった際には、計画に反映させるなど適切に対応してまいります。</p>

<p>3</p>	<p>【案件名：千歳市集会施設等個別施設計画】</p> <p>当該地域は、人口増加が見込まれることから末広会館の廃止には反対する。</p> <p>①末広会館は、末広地区の避難所に指定されており、近年、耐震化工事を実施したにも関わらず、老朽化を理由として、地元への事前相談もなく、廃止の方向性が示され、住民の不安が増発している。</p> <p>②一方、支笏湖市民センターは、D評価が2つあるが、現状維持とされており、行政の透明性に不信感を感じる。</p> <p>③千歳市の耐震工事には、地震発生の耐久性はないのか。</p> <p>④シーリング等の工事費用はどの程度か。また、費用対効果は。</p>	<p>分類～③</p> <p>①末広会館は、市民の学習、保育、休養、集会等の用に供するために昭和46年に竣工し、あすなる学童クラブや地域の町内会活動、サークル活動等に利用されている施設であります。</p> <p>耐震化工事については、過去に実施した耐震診断の結果を踏まえ、これまで耐震化工事を実施した経過はありません。</p> <p>施設の今後の方向性につきましては、施設の建築経過年数や利用状況などを踏まえ検討を進めてきたところでありますが、避難所としての機能や共同利用施設としての機能に関して、地域住民の皆様と意見交換を行いながら引き続き検討してまいります。</p> <p>②「施設の今後の方向性」については、施設の評価や建築経過年数をもとに対象施設を抽出し、個々の施設の状況を踏まえ総合的に判断を行っております。</p> <p>③本施設については、耐震診断の結果を踏まえ、耐震工事は実施しておりませんが、施設の機能や安全性を確保するために必要となる修繕は実施してきたところであります。</p> <p>本施設の建築経過年数等を踏まえると、今後、施設の老朽化の進行に伴う施設全体の機能や安全性に対する懸念が高まることとなり、結果、長寿命化に係る費用などを要することが想定されます。</p> <p>④「施設の今後の方向性」については、長期的な視点による判断が必要となりますことから、建築経過年数等を踏まえ、今後、施設全体の機能や安全性に対する懸念が高まることなどを想定し、各費用（除却、建替、長寿命化）を試算するほか、代替機能、個々の施設の状況等を踏まえ、総合的に判断を行っております。</p>
----------	--	---

4	<p>【案件名：千歳市集会施設等個別施設計画】</p> <p>あすなる学童クラブについて、廃止の方向性が示されているが、対象世帯に対し、移転先等、どのように説明しているのか。</p>		<p>分類～③</p> <p>あすなる学童クラブについては、千歳市立高台小学校の児童に対する放課後の受入れを行っている施設であり、施設の老朽化が進んでいることも踏まえ、「高台小学校区内における移転について検討を進めること」としております。</p> <p>そのため、引き続き、高台小学校区内における移転先について、検討を進めることとし、今後、地域関係者や利用者、保護者の皆様との調整・説明を行ったうえで、事業を実施することとなります。</p>
5	<p>【案件名：末広会館の廃止】</p> <p>①本会館については、シーリング等のみがD評価で、それ以外の評価は悪くない（A、B評価）にも関わらず、施設を廃止することは納得できない。</p> <p>②地域住民の災害時の避難場所がなくなることは問題であり、シーリング等をメンテナンスしたうえで継続使用としていただきたい。</p>	1	<p>分類～③</p> <p>①本施設の今後のあり方につきまして、あすなる学童クラブでは令和6年度は251件（12,421名）、令和5年度は247件（11,489名）の利用がある一方、学童クラブ以外の利用については、令和6年度は年間で165件（1,060名）、令和5年度は138件（934名）であります。</p> <p>他の共同利用施設（東雲会館）では、令和6年度に1,071件（9,151名）、市内における他の集会施設（コミュニティセンター）は、令和6年度の平均で1施設当たり約1,300件（約16,800名）の利用がある中で、本施設は比較的用户の少ない状況でありますことから、施設の建築経過年数や利用状況等も踏まえ検討を進めてきたものであります。</p> <p>避難所としての機能につきましては、代替施設の検討を行うなど、地域住民の皆様と意見交換を行いながら、引き続き今後のあり方について検討してまいります。</p> <p>②本施設の建築経過年数等を踏まえると、今後、施設の老朽化の進行に伴う施設全体の機能や安全性に対する懸念が高まることとなり、長期的な視点として長寿命化に係る費用を要することなどが想定されるため、これらも踏まえ、「施設の今後の方向性」の判断を行っております。</p>

6	<p>【案件名：末広会館】</p> <p>この地区は、人口増加が見込まれているが、災害等があった場合、花園コミュニティセンターだけでは収容できず、その時に、末広会館の重要性に気付くのは遅いのではないかと。非常時の対策として、施設を維持管理すべきではないかと。</p>	<p>分類～③</p> <p>本施設の今後のあり方につきまして、あすなろ学童クラブでは令和6年度は251件（12,421名）、令和5年度は247件（11,489名）の利用がある一方、学童クラブ以外の利用については、令和6年度は年間で165件（1,060名）、令和5年度は138件（934名）であります。</p> <p>他の共同利用施設（東雲会館）では、令和6年度に1,071件（9,151名）、市内における他の集会施設（コミュニティセンター）は、令和6年度の平均で1施設当たり約1,300件（約16,800名）の利用がある中で、本施設は比較的用户の少ない状況でありますことから、施設の建築経過年数や利用状況等も踏まえ検討を進めてきたものであります。</p> <p>避難所としての機能につきましては、代替施設の検討を行うなど、地域住民の皆様と意見交換を行いながら、引き続き今後のあり方について検討してまいります。</p>
7	<p>【案件名：（仮称）千歳市集会施設等個別施設計画（案）】</p> <p>末広会館について廃止の方向性が示されたが、パブリックコメントを実施する前に、地域住民の皆さんの意見を聞く場を設けておらず、この点、どのような考えか。</p>	<p>分類～③</p> <p>本施設の今後のあり方につきまして、あすなろ学童クラブでは令和6年度は、251件（12,421名）、令和5年度は247件（11,489名）の利用がある一方、学童クラブ以外の利用については、令和6年度は年間で165件（1,060名）、令和5年度は138件（934名）であります。</p> <p>他の共同利用施設（東雲会館）では、令和6年度に1,071件（9,151名）、市内における他の集会施設（コミュニティセンター）は、令和6年度の平均で1施設当たり約1,300件（約16,800名）の利用がある中で、本施設は比較的用户の少ない状況でありますことから、施設の建築経過年数や利用状況等も踏まえ検討を進めてきたものであります。</p> <p>避難所としての機能につきましては、代替施設の検討を行うなど、地域住民の皆様と意見交換を行いながら、引き続き今後のあり方について検討してまいります。</p> <p>地域住民の皆様との意見交換の場については、今後のスケジュールや、あすなろ学童クラブの移転先の候補などについて具体的な方向性を示しできる段階になりましたら、ご案内する予定であります。</p>

8	<p>【案件名：（仮称）千歳市集会施設等個別施設計画（案）】</p> <p>末広会館の廃止について、</p> <p>①いつ頃、除却・売却など具体的なスケジュールが示されるものか。</p> <p>②本施設は、老朽化しているものの、指定避難所に指定されており、耐震性にも問題がないと認識しており、学童クラブ専用建物とすべきと考える。また、その際には、施設管理に対する十分な措置を講じるべきであり、地域利用も継続すべきと考える。</p>	<p>分類～③</p> <p>①末広会館の除却、売却などを含む今後のスケジュールについて、公表時期は未定ですが、今後の具体的な方向性をお示しできる段階になりましたら、ご案内いたします。</p> <p>②本施設の今後のあり方につきましては、建築経過年数や利用状況等も踏まえ検討を進めてきたところであり、</p> <p>本施設の建築経過年数等を踏まえると、今後、施設の老朽化の進行に伴う施設全体の機能や安全性に対する懸念が高まることとなり、長期的な視点として長寿命化に係る費用を要することなどが想定されるため、こういった費用も含め、今後の方向性の判断を行うこととしております。</p> <p>また、避難所としての機能や共同利用施設としての機能に関して、地域住民の皆様と意見交換を行いながら引き続き検討してまいります。</p>
9	<p>【案件名：末広会館廃止】</p> <p>末広会館廃止の計画に強い懸念を抱いている。</p> <p>近隣に公共施設があるものの、距離が遠く、高齢化が進む住民には負担増となり、住民のコミュニティ活動の衰退を懸念する。</p> <p>①施設の老朽化や維持管理費の問題は理解できるが、全面的に廃止するのではなく、改修や維持補修などにより、廃止時期を延ばすなどの代替案を検討する余地があるのではないかと。</p> <p>②廃止時期に関する情報は、なるべく早く情報提供してほしい。</p> <p>③施設を廃止した場合、本施設に保管している什器備品等の保管場所はどうなるのか。</p>	<p>分類～③</p> <p>①本施設の今後の方向性につきまして、あすなろ学童クラブでは、令和6年度は251件（12,421名）、令和5年度は247件（11,489名）の利用がある一方、学童クラブ以外の利用については、令和6年度は年間165件（1,060名）、令和5年度は138件（934名）であります。</p> <p>他の共同利用施設（東雲会館）では、令和6年度に1,071件（9,151名）、市内における他の集会施設（コミュニティセンター）は令和6年度の平均で1施設当たり約1,300件（約16,800名）の利用がある中で、本施設は比較的用户の少ない状況でありますことから、施設の建築経過年数や利用状況等も踏まえ検討を進めてきたものであります。</p> <p>避難所としての機能につきましては、代替施設の検討を行うなど、地域住民の皆様と意見交換を行いながら、引き続き今後のあり方について検討してまいります。</p> <p>②末広会館の除却、売却などを含む今後のスケジュールについて、公表時期は未定ですが、今後の具体的な方向性をお示しできる段階になりましたら、ご案内いたします。</p> <p>③末広会館に町内会の什器備品等が保管されている場合には、各町内会において、保管先をご検討いただくこととなります。</p>

10	<p>【案件名：千歳市集会施設等個別施設計画】</p> <p>①ハード評価の表について、良好・劣化と表記されているが、A～Dの評価がどちらに対応しているのか、明示されていない。</p> <p>②電気設備評価では、「点数が低い→A」、「点数が高い→D」とされているが、点数の算出方法や基準値が明示されておらず、客観性にかける。</p> <p>③ソフト評価では、「公共性と利用状況の合計点数」に基づくとされながらも、具体的な配点基準や点数の範囲が示されていない。</p> <p>④採点方法として、マトリクス方式ではなく、PFMEA方式を活用するなど、優劣をはっきりさせるべきではないか。</p> <p>⑤これらの不明瞭な評価基準は、施設の「廃止」や「転用」といった重大な判断に直結するため、住民理解を得るには不十分と考える。</p>	<p>分類～③</p> <p>①②③計画の策定に向け、評価方法に係る資料を添付するよう調整を進めてまいります。</p> <p>④⑤施設評価については、その評価のみをもって、施設の今後の方向性を判断するものではなく、対象施設を抽出するために活用するものであり、他市の事例等を参考にしつつ整理したものであります。</p> <p>「施設の今後の方向性」については、施設の評価を踏まえつつも、個々の施設の状況を総合的に勘案し判断することとしております。</p>
----	---	--